

## 森町教育委員会定例会会議録（要旨）

会 議 名	平成30年3月森町教育委員会定例会				
開 催 日 時	平成30年3月23日（金） 13時30分				
会 場	森町文化会館 第3研修室				
出席委員	委員長	井口 始			
	委員	村松加代子			
	委員	鈴木眞子			
	委員	早馬保男			
	教育長	比奈地敏彦			
出席者	学校教育課 課長	西谷ひろみ	社会教育課 課長	鈴木富士男	
	課長補佐	古川敏勝	課長補佐	杉山秀彦	
	学校教育係長	土屋智也乃	社会教育係長	藤原崇	
	庶務係長	岩井秀司	図書館管理係長	大澤みどり	
傍聴者	なし				

### 1 開 会

委 員 長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-------	------------------

### 2 前回会議録の承認

委 員 長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委 員 長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

### 3 教育長の報告

委 員 長	3月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。	
教 育 長	1日・課長会議 ・園長・校長会 ・臨時教育委員会	(3月議会について ストレスチェック結果報告等) (郷育4 引き締まった1か月を 人事日程確認) (人事内申案承認等)
	2日・3月議会本会議(招集)  ・全員協議会	(各種条例制定の提案説明 補正予算 30年度森町 一般会計予算 各種特別予算詳細説明等) (第4次森町行財政改革大綱について他6件
	3日・森町教育顕彰式	(教育功労(個人4人) 小中高のスポーツ・文化 功績賞(小学生12人・中学生6人・高校生1人) 受賞作品の発表)
	5日・生涯学習担当者研修会  ・臨時校長会【県職：内々示】	(子供向け講座等参加状況、社会福祉関係事業実績 について等) (29年度末人事情報伝達)

6日・3月議会議会2日目	(条例、補正予算 30年度一般・特別予算等についての質疑等)
7日・一般質問答弁調整	(英語教育改革実施計画の課題と効果 学校給食について 小中学校での防災訓練について等)
8日・議会常任委員会 (第一常任委員会)	(視察(天方小グランド 森中ランチルーム) 30年度予算審議 ※学校教育課 社会教育課)
13日・第6回学校のあり方検討会 ※最終会	(森町学校のあり方答申書完成 ※教育委員長に答申提出)
14日・卒園式 ※一宮幼稚園 ・BFC表彰式 ・静大大学院派遣教諭来庁	(8人の卒園児 できることが増えた園児たち) (少年少女消防活動表彰(森小)) (派遣期間終了報告 ※教授同席)
15日・課長会議 臨時課長会 臨時園長会	(町長訓示 特定される固有名詞の扱いについて配慮など 町職異動内示 幼稚園教諭異動内申伝達)
16日・磐周教頭会選考委員来庁 【県職：内示】 ・生涯学習推進協議会	(磐周教頭会選考案報告) (29年度各種事業実績 30年度の各種事業計画について)
17日・夢づくり大学大学祭	(各講座見学(展示・演技))
18日・夢づくり大学閉講式	(閉講式挨拶)
19日・卒業式 ※森中学校 ※雨天	(59人の卒業生 落ち着いた雰囲気の中で挙行)
20日・卒業式 ※三倉小学校 【新聞発表】	(3人(女兒)の卒業生全校児童参加小規模校ならではの雰囲気)
22日・3月議会最終日 ・課長会と議会との懇親会	(討論、採決、常任委員長報告 一般質問) (1年の振り返りと情報交換)
23日・森町教育委員会	(3月定例会)
26日・森町地域防災会議	(地域防災計画修正案の承認等)
27日・交通安全推進会議 ・文化会館運営委員会及び 振興会合同会議	(春の全国交通安全運動について) (文化会館の活用状況、決算 30年度事業計画と予算(案))
28日・教職員離任式・退職者送別会 (県職・町職)	(退職者 校長2名 教諭4名 県職異動者 30名)
29日・教員育成協議会事務局来庁 ・松田指導主事来庁	(次年度活動計画説明) (事務所での活動報告のため)
30日・町職退職辞令交付式	(定年退職者2人(教育委員会関係1人) 幼稚園教諭2人)
委員 長	教育長の報告について、質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。

#### 4 付議する案件

##### 【議 事】

委員 長	議事について事務局に説明を求める。 議第44号 平成29年度準要保護の認定について説明を求める。非公開とする。
学校教育係長	議第44号 平成29年度準要保護の認定について
委員 全員	承認。
委員 長	議第45号 平成30年度準要保護の認定について説明を求める。非公開とする。

学校教育係長	議第45号 平成30年度準要保護の認定について
委員全員	承認。
委員長	議第46号 平成30年度学校医等の委嘱について説明を求める。
庶務係長	議第46号 平成30年度学校医等の委嘱について 学校医・学校歯科医・学校薬剤師については、森町立小・中学校管理規則に基づいて委嘱するものである。各園長、各小中学校長から一覧のとおり内申があった。 学校医、歯科医については、変更なし。学校薬剤師については、大石さんに三倉小を新規で委嘱する。森町病院の西尾さんが3つを担当していたため、担当を見直した。
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	森町病院の西尾さんの他に変更はないか。
庶務係長	森町病院の林さんに三倉小をお願いしていたが、森幼と森中をお願いする。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	議第47号 平成30年度社会教育推進員の委嘱について説明を求める。
社会教育係長	議第47号 平成30年度社会教育推進員の委嘱について 人と人との繋がりが薄くなり孤立しやすい地域の生活課題や住民の様々な学習要求を捉え、地域住民が交流し合う社会教育事業を推進するため、117名の社会教育委員を委嘱したい。
委員長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	議第48号 平成30年度「森の教育」の方針及び重点について説明を求める。
学校教育課長 社会教育課長	議第48号 平成30年度「森の教育」の方針及び重点について 先月の協議会で指摘いただいた点を修正した。修正点について説明。 森の教育グランドデザインについては、県の構想を外して森町の構想だけを記載した。全体の表現を学校教育と合わせて修正した。 主要事業の2点目の末尾の「(委託事業)」については、予算項目が変わるため削除する。
委員長	以上について質疑を求める。
村松委員	4ページの体系図に入力ミスがある。 6ページの「合同部活等」となっているが、「合同部活動等」の方が分かりやすい。
学校教育課長	修正する。
委員長	10ページの枠の中の文字が他と違うが意図があるか。
社会教育課長	分かりやすくするため、明朝体にした。
委員長	この「森の教育」は、教育委員会にとっても、学校にとっても、ハンドブック的な位置付けにある。是非、教育現場がこれを活用してもらいたい。

	<p>森の教育グランドデザインがすっきりと分かりやすくなった。県や国の方針が抹消されたということではなく、森町に絞ったことで分かりやすくしたと捉えていただきたい。</p> <p>また、森町型コミュニティスクールという言葉が出てきたことが意義のあることで、教育界全体が、これに目を向けているなかで、教育長が判断いただいたことは、重要なこと。コミュニティスクールは、役所からの指示で作る体制と思われがちだが、むしろ学校からの願いがあって、役所が受けて作り上げるものだと思う。学校の方向性が最初にあって、それが学校に留まらずに学区の学校とどのように連携するかが大切であり、これまでの森町で言えば一貫教育に結びつくものと言える。そこまで来て初めて教育委員会がどのように支援するかということになる。学校が、地域の中でどういうものにしたいという思いを、大切にしてほしい。</p>
教 育 長	コミュニティスクールの必要性を説きながら、校長とも話していきたい。
委員 全 員	他に質疑なく承認。

### 【報告事項】

委 員 長	<p>報告事項について事務局に説明を求める。</p> <p>報第38号 森町教育支援センター事業実施要綱の制定について説明を求める。</p>
学校教育係長	<p>報第39号 森町教育支援センター事業実施要綱の制定について</p> <p>この要綱は、不登校の児童生徒について社会的自立を支援することを目的に、4月から開設する教育支援センターの実施要綱。</p> <p>1条は、趣旨として今申し上げた目的が記載。</p> <p>2条の実施場所は、森町防災拠点倉庫の西側の会議室を使用する。</p> <p>3条の事業内容は、指導員2名が常駐し、指導員は学習支援や相談業務、学校との連携業務などを行う。</p> <p>手続きについては、4条5条のとおりで、該当児童生徒へ学校を通じて案内文書を渡し、入級の意思がある場合は、4条の書類を提出して通学する。</p> <p>6条のセンターの開催時間は、午前9時から正午まで。指導員は準備・片付け等があるため、8時30分から12時30分までの勤務となる。実施日は、火・水・金の週3日。月曜日は登校しづらいということ、3日連続の実施では通いづらいのではないかとということで、この曜日設定とした。</p> <p>休日は原則として森町立小中学校管理規則第4条に準ずるもので、国民の祝日に関する法律の規定する休日、土・日曜日、学年始めと学年末の休業日、夏季・冬期の休業日となる。</p> <p>最後に、この森町教育支援センターの名称を「わかば」とするが、「わかば」が芽吹いたばかりのまだ柔らかい葉で、これから成長していく中で、青々とした力強い葉となり、いずれ花を咲かせたり、実を結んだりということから、将来への希望が持てるようなイメージがあり、この名称とした。</p> <p>このセンターに通ってくる子たちが、今はまだ困難を抱えていたとしても、センターに通うことによって、将来に希望を持って学校・社会に戻っていったらと思う。</p>
委 員 長	以上について質疑を求める。
村 松 委 員	出席日数にカウントされるのか。
学校教育係長	カウントされる。
委 員 長	担当者はどのような方か。
教 育 長	元教員でこのようなことに長けた方。。ケースによってはスクールカウンセラーにも関わってもらえることできる。。

村松委員	対象は、小学校1年から中学校3年までか。
教育長	そのとおり。現実的には中学生が多くなる。
早馬委員	保護者が送迎するのか。
学校教育係長	今後保護者と相談する中で決める。
委員長	様式の標題が依頼書となっており見慣れないが、他にもこのような使い方をしているのか。
学校教育係長	近隣市の要綱でも同様となっている。
村松委員	申込書ではないのか。
学校教育課長	本人が学校へ申し込んで、学校が教育委員会へ依頼する流れ。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第40号 平成30年度特別支援学級入級児童生徒について説明を求める。非公開とする。
学校教育係長	報第40号 平成30年度特別支援学級入級児童生徒について
委員全員	承認。
委員長	報第41号 平成30年3月森町議会定例会報告について説明を求める。非公開とする。
学校教育課長	<p>報第41号 平成30年3月森町議会定例会報告について</p> <p>3月2日に議会が招集され、22日までの会期21日間で開催された。教育委員会関係では、初日には、JETプログラムを利用したALTの報酬と費用弁償に関する条例1件、平成30年度一般会計予算、藤本さんからの寄附金を本の購入にあてるための補正予算について、提案理由の説明が町長から行われた。6日の2日目には、条例1件と予算について本会議の中で質疑が行われ委員会付託となり、補正予算については、質疑・討論・採決が行われ原案どおり可決された。8日には、常任委員会が開催され、審議前にエアコン設置を予定している森中のランチルーム、天方小のグラウンドの視察が行われた。午後から条例及び予算の中身について審議が行われた。22日の最終日には、常任委員長から委員会の報告が行われ、条例・一般議案・当初予算について討論・採決され、すべて原案どおり可決された。一般質問については、別添のとおり。</p> <p>加藤議員から、英語教育の早期化について質問があった。</p> <p>近年、さまざまな面でグローバル化が進み、英語によるコミュニケーション能力の必要性が高まってきており、森町においても、国際社会や地域社会で心ゆたかでたくましく生き抜くことができる若者を育てるため、英語教育に力を入れている。</p> <p>1つ目として、本年度から小学校において、1年生から4年生までを対象に、英語教材「スイッチ オン」を使って、短時間学習を進めている。2つ目は、平成30年度から、JETプログラムを活用し、小学校2名、中学校2名、計4名のALTの増員を図り、より多く生の英語に触れることができるとともに、異文化理解を深めることにつながるものと期待する。これらは、国で示している「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」に沿って進めているものでもある。</p> <p>質問の「国の計画に基づき町が英語教育を推進していく上での課題と効果は」については、指導者の確保、教諭の不安感による高学年担任希望者の減少、時間割の編成等が課題になってくるものと思う。この対策として、国や県が行っている指導力向上のための研修制度を活用するとともに、JETプログラムによるALTに授業の補助をお願いすることで、担</p>

任の発音に対しての不安感を軽減していきたい。

効果としては、小学校から計画的に英語教育を行うことで、中学校・高校へと段階を通じた英語教育が充実し、生徒の英語力の向上につながると思う。担任が安心して積極的に授業を行うことが大切であり、それによって、子供たちにも良い影響が与えられる。国や県の制度を活用しつつ、教育委員会としてもできるだけのことをしたいと答弁した。

鈴木議員からは、学校給食について質問があった。

1点目の学校給食の食べ残しについては、森町では、ありがたいことに食べ残しは、ほとんどないのが現状である。栄養価を考慮するのはもちろんだが、子供たちが給食に関心を持って楽しく食べられるよう、季節に合わせ地元産の食材を使ったり、行事にちなんだ献立を立ったりしている。また、温かいものは温かく、冷たいものは冷たいうちに食べられるよう、調理時間に気を配るとともに、真空食缶を使って配送し、提供している。今年度は、夏場、特に高温になっていた宮園小・飯田小学校のランチルームにエアコンを設置したので、快適な環境の中で、食が進んでいると聞いている、と答弁した。

2点目の学校給食運営委員会については、運営委員会を年2回開催し、給食実施計画に関する事、給食費の額に関する事、物資納入業者に関する事、衛生管理に関する事などを審議している、と答弁した。

3点目のカロリー、塩分等の数値の基準については、学校給食における1食当たりのエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、ビタミン、塩分量などは、厚生労働省が定めている「栄養素等表示基準値」により、文部科学省が「学校給食摂取基準」を策定しておりますので、その基準に基づき栄養教諭・栄養職員が、カロリー、栄養成分について計算し、献立を作成している、と答弁した。

これに対して、食べ残しが多いのは味が薄いからだという再質問があった。

西田議員から小・中学校での防災訓練について質問があった。

幼稚園並びに小・中学校における防災訓練については、それぞれの園・学校において、年間を通して計画的に行っている。夏休み以外毎月実施している幼稚園もあるし、少ない学校でも学期に1度、年3回は実施している。日ごろから訓練を重ね、どのような危険から何のために避難するのか学んでおくことは、有事の際に、状況に応じて適切に行動するためには大変有効なものとなるため、今後もこのような訓練は、それぞれの幼稚園・学校には、しっかり実施をしていくよう依頼していきたいと思っている。

指摘の「弾道ミサイル発射に係る避難訓練」については、森町では今のところ実施していない。「危機管理マニュアル作成の手引き」を発行し、「新たな危機事象」として、弾道ミサイル発射に係る対応について追加された。北朝鮮情勢も、変化しているため、社会情勢を見極めながら、今後も子どもたちの安全を第一に、マニュアルの整備と適切な訓練を実施したい。その際には、必要以上に不安をおおることがないように心掛け、配慮したいと答弁した。

岡戸議員から学校のあり方検討会の答申について町長宛てに質問があった。

答申をもとに、今後教育委員会で検討を行い、平成30年度の早い時期には、教育委員会としての方向性を示したいということも聞いている。検討会での経過は、総合教育会議で保護者へのアンケートの結果や地域懇談会での町民の皆さんのご意見、検討会での検討内容等について確認をしている。アンケートの結果には、少人数での教育活動に対する不安を持つ保護者がいる反面、少人数の教育を求める意見もあった。また、地域懇談会では、地域コミュニティの核である学校がなくなった場合の地域社会への影響を心配する意見もあった。

この件については、丁寧に取り組まなければならない一方で、喫緊の課題でもあり、「スピード感をもって取り組むべき」といった意見も多くあるため、時間をかけすぎないように、きちんと方向性を出していきたい。今後は、平成30年度の早い時期に総合教育会議を開催し、教育委員会の考え方を伺いながら、再編の必要性とその影響等を具体的に検討したいと答弁した。

岡野議員の3番目の質問の中で、幼稚園が5園あるが、うち1園を幼保園にする考えはないかとの町長への質問があった。今回のあり方検討会の中でも触れられていることを踏まえて町長が回答。母親の就労形態の多様化に伴う保育需要の増大等により、幼稚園の再編を望む声が多数あることから、預かり保育の拡充や保育機能を併せ持つ「認定こども園」への移行等の研究が必要であると思われるとの答申を受けて、就学前の子供を一体的に見る体制が必要との答弁だった。

委員 長	以上について質疑を求める。
委員 長	平成30年度の早い時期というのは、事務局の意向か。
教 育 長	そのとおり。教育委員会でも早い時期に視察や協議を行う予定。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第42号 平成30年度予算等について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第42号 平成30年度予算等について            学校教育課の予算内容を「一般会計予算に関する説明書」により項目順に変更点等を説明。</p> <p>10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費、1,714千円は教育委員4人分の報酬や教育長と教育委員の旅費、教育長交際費等。2目事務局費の臨時雇賃金は、適応指導教室指導員2名分の賃金が追加。</p> <p>使用料及び賃借料には、コンテンツフィルタの使用料として約4,000千円が増加。</p> <p>0005英語教育推進事業がJETプログラムを利用したALTに係る費用で新規事業。</p> <p>2項小学校費、1目学校管理費の委託料の特定建築物定期調査報告業務委託料324千円は、各小中学校の校舎について隔年実施する検査、建築設備等定期検査報告業務委託料778千円は、天方小を除く小中学校の防火扉の検査の委託料。0003工事請負費の森小学校公共下水道接続工事が4,695千円、天方小学校グラウンド改修工事が4,860千円で水はけの改善のための工事を行う。2目教育振興費の0002教科書等整備事業は、道徳の教員用教科書の費用として276千円。</p> <p>3項中学校費の1目学校管理費の委託料、特定建築物定期調査報告業務委託料216千円、建築設備等定期検査報告業務委託料389千円は、小学校費と同様。ネットパトロール業務委託料390千円は、ネットを使いたいじめや誹謗中傷を未然に防ぐための新規事業。</p> <p>0003中学校施設整備費の森中学校給食等空調設備工事7,550千円はランチルームへのエアコン設置工事。</p> <p>4項幼稚園費、1目幼稚園費の森幼稚園公共下水道接続工事2,560千円は、新たに発生する事業。0003預かり保育事業は、5園全園で実施するための費用。</p> <p>7項学校給食費、1目学校給食費、賄材料費80,268千円については、これまで、旭か丘中、泉陽中学校区が公会計だったが、自校式の森小・森中もすべて公会計化するため増額。保護者からの給食費を一般会計に歳入し、材料費を歳出するように変更。</p>
社会教育課長	<p>社会教育課の予算内容について、説明。</p> <p>5項社会教育費、1目社会教育総務費が前年比較で15,446千円の増額しているのは、文化振興系の人件費を文化振興費から社会教育総務費へ移したことによるもの。機械器具費1,676千円は、公用車を購入するための費用。0003北海道森町交流事業費301千円は、平成30年度が友好町として50周年となり、女性の研修生を迎え入れる費用。</p> <p>3目図書館費が前年比較2,002千円は、主に図書館システム使用料。これまでは、システムを買い取ったが、今年度からはリースとなるため増額となった。また、ブックスタート事業約180千円は、生まれた子供に読み聞かせのデモンストレーションをして2冊の絵本をプレゼントする事業。</p> <p>4目文化振興費の前年比較▲14,884千円は、文化振興系の人件費を文化振興費から社会教育総務費へ移したことによる減額。</p> <p>6目歴史民俗資料館費は、資料館の屋根の雨漏りを修繕するため、900千円程度の増額。</p> <p>8目文化会館費の前年比較▲22,187千円は、大規模修繕等を一時休止することによる減額。工事請負費の文化会館LED照明設置工事6,393千円は3年目となるが、当初3年で行う予定だった工事を4年間に変更した。</p> <p>6項保健体育費、1目保健体育総務費の前年比較▲1,098千円は、人事異動による人件費の減額。2目体育施設費の前年比較▲1,230千円は、前年度は、ランニングマシンを</p>

	1台購入しており、これがなくなったため減額となった。 歳入は、前年実績に基づき計上。
委員長	以上について質疑を求める。
鈴木委員	ブックスタート事業の本は、図書館に置くのか、プレゼントするのか。
図書館 管理係長	ブックスタート事業は、県内市町のほとんどが実施している。0歳児の子供に絵本を渡して読んであげることで、幸せな言葉をかけるきっかけづくりとする事業。森町では、6か月児相談に来場された親子に絵本を渡して読み聞かせを行い、楽しいひとときを過ごしてもらい、また、家庭でもそのような時間を持っていただくという内容。
学校教育課長	今回の当初予算には計上していないが、宮園小のプールは、今年度中に設計が完了するため、6月の補正予算に計上する予定。
鈴木委員	授業に支障のないような予定となっているか。
学校教育課 課長補佐	期間が2週間くらいの予定。学校と調整のうえ実施する。
社会教育課長	昨年6月に周智高校跡地購入に伴い不動産鑑定を行うように予算計上していたが、県から校舎にアスベストがあると連絡があり、再調査後に解体工事を行うこととなった。平成30年度予算に不動産鑑定料を計上し、平成30年度中に解体工事が完了するように県との調整している。
委員長	給食費を歳出歳入へ組み込んだのか。
学校教育課長	保護者から材料費を徴収しているが、これを一般会計へ歳入して、賄材料費として歳出する。
委員長	今までは、どのようになっていたのか。
学校教育課長	今までは、過去はすべて自校式だったが、会計方法は、私会計だった。拠点化されたときに食数が千を超え、大きい金額となり、県の指導もあり一般会計化した。県の給食ガイドラインで平成32年度までに公会計化するようになったため、今回すべて会計方法を変更した。
委員長	集金の仕組みが変わったということではないか。
学校教育課長	1人1人が町に納付するのではなく、学校が集金したものを学校から一括で納付する方法には変更はない。
学校教育課長	多忙化や未納問題もあり、課長の言われた方法に移行するところがあると聞いているので、森町も変更するのかもしれない。  いずれは、そうしないと多忙化解消とはならないと思うが、今のところ未納はないが、変更されると未納が発生する可能性がある。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第43号 平成30年度教育委員会事務局職員の人事異動について説明を求める。
教育長	報第43号 平成30年度教育委員会事務局職員の人事異動について



	<p>役場職員の人事異動について3月15日に内示があった。学校教育課では、古川課長補佐が産業課へ異動となり、後任として、保健福祉課の塩澤課長補佐が学校教育課長補佐となり、学校管理係長を兼務する。また、学校管理係が1名増員となり、保健福祉課から鈴木さんが配属される。幼稚園長に関塚園長が新任。</p> <p>社会教育課では鈴木課長が参事となる。杉山課長補佐が退職され、後任として、産業課から松浦課長補佐が配属される。文化振興係の加藤さんが建設課へ異動となり、保健福祉課の山崎さんが後任となる。図書館の大澤係長が議会事務局へ異動となり、住民生活課から菅沼係長が後任となる。</p> <p>組織の再編があり、防災課と定住推進課が新設。出納室が会計課となった。</p>
委員 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
委員 長	報第44号 平成29年度森町立図書館図書寄贈について説明を求める。
図書館 管理係長	<p>報第44号 平成29年度森町立図書館図書寄贈について</p> <p>公益信託基金から、地域の人材育成に寄与するため、児童読み物、絵本等97冊174,667円の寄附を受けた。森町ライオンズクラブから森町立図書館の図書充実のため、児童図書19冊、大型絵本2冊、計70,146円の図書の寄贈を受けたので報告する。</p>
委員 全員	質疑なし承認。

## 5 連絡事項

委員 長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	<p>次回の定例会は、4月26日（木）午後1時30分から第2研修室で開催する。</p> <p>離任式・着任式での役割について</p> <p>入学式への参列について</p>

## 6 閉会

委員 長	<p>以上で本日の日程を終了し、閉会とする。</p> <p>15時10分閉会</p>
------	--

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 委 員 長

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

---

委 員

---

教 育 長

---

事 務 局

---